

ひらく

●一点を支点としてひらく●窓・扉をひらく●道をひらく●口・目をひらく●花がひらく●運をひらく●文化をひらく●インターネットをひらく●新聞・本をひらく●講座・会をひらく

—— 未来をひらく、心をひらく ——



—— 特 集 ——

事例からみる
アンコンシヤス・
バイアス

2022.10

51

男女共同参画社会をめざす

特集

事例からみる アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)

モヤモヤする



男は理系、女は文系という見方。実際に女子校時代の理系選択者は10分の1くらいでしたが、自分自身が理系科目が得意だったので違和感があった。



女は結婚したら、勤めを辞めるから、重要な仕事はさせない。

女は料理がそこそこできて当たり前だが、男が少々たしなんでいると「すごいね」となる。

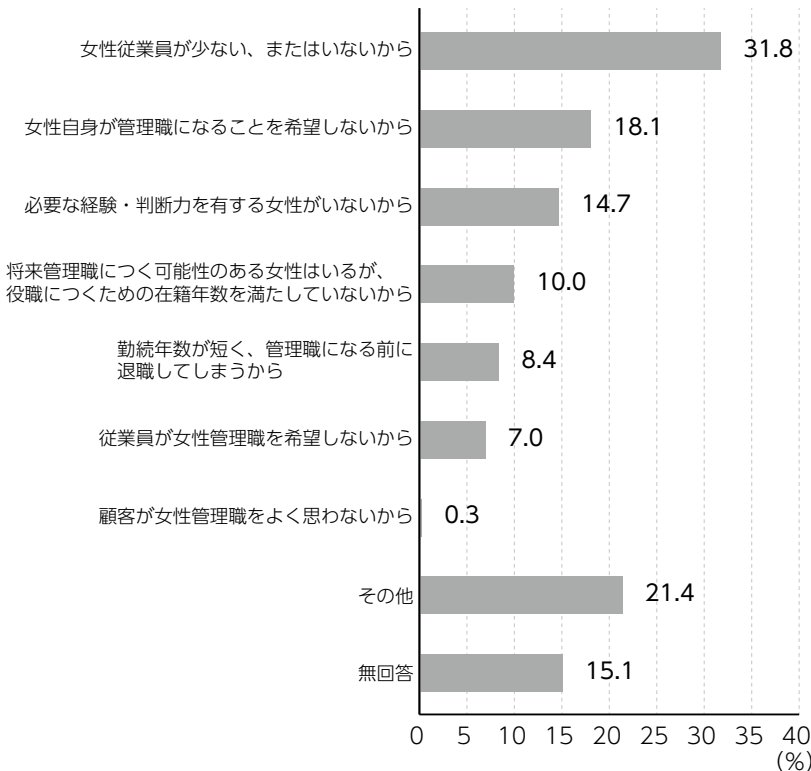
アンコンシャス・バイアス
自分でも気がつかないうちに無意識に溜め込んだ考えが他人とは違うことがあります。それに気がついたとき、自分と相手とどちらが正しいと思うか。そのとき私たちは偏見という眼鏡をかけていないか。実行委員の身近にあった事例をみてみましょう。

「女性の管理職が少ないのは希望者がいないから」という答えを何度も聞いた。

●女性の管理職が少ない理由

※ 女性管理職の割合が3割未満であった事業所の回答

n (回答数) = 299



『小平市男女共同参画推進に関する市民意識・事業所実態調査報告書』
(令和3年1月) から



難しいことの説明に、男性が説明する側・女性が説明を受ける側のイラストを配置しがち。

大部分の年配女性は働いたことがないと思ひ込み、「あなた、働いたことあんのか」と言う男性がいる。

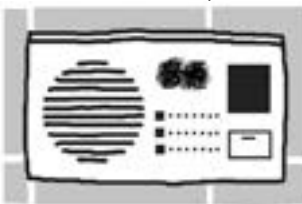
夫の退職後、妻が再就職した。「立場が逆転した」と夫が嘆く。

婚約をした二人。苗字を変えたくない女性に「愛があるから苗字が変わってもいいよね」と男性が言う。

20代独身の頃に八百屋さんで「奥さん、〇〇美味しいよ」と声をかけられ、「別に結婚してませんけど…」と腹立たしかったことがある。



トイレ用擬音装置は女性トイレにある。女性だけが音を気にするという思い込みがあるからか？最近は、一部の男性トイレにもあるらしい。

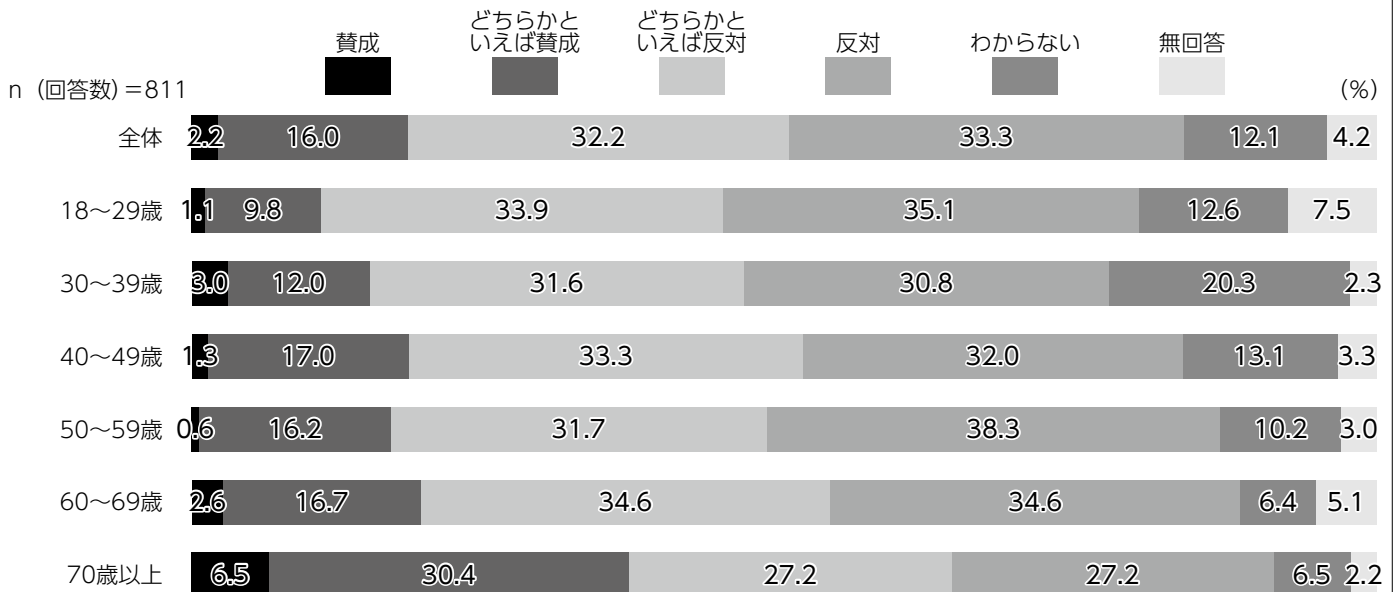


世帯主というと男性を思い浮かべがち。

親の介護は長女や長男の嫁がすべきという考え方がある。

トイレ清掃は女性の仕事とは限らない。男性トイレの掃除に男性も関わっている。男性トイレにもベビーベッドが必要。

●「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方をどう思いますか



『小平市男女共同参画推進に関する市民意識・事業所実態調査報告書』(令和3年1月) から

* 報告書は、小平市ホームページで閲覧できるほか、市役所1階市政資料コーナー、東部・西部出張所でも閲覧できます。なお、市政資料コーナー、東部・西部出張所では、1冊800円で販売しています。



ごみ清掃の仕事現場に女性も関わるようになってきた。



男性が「占いに行ってきた」と言うのを聞いて、「男なのに占いに行ってきたの」と思わず言ってしまった。

会社の飲み会で女性が飲み物を注ぐ（もうないかもしれないが）。

いろいろな集まりの最後（飲み食い）の片付けはたいてい女性。男性が強要するわけでもないのに、なぜかそうなる。

車の運転や機械いじりは男の方が得意である。大昔の冒険活劇映画を見ていたら、「女性は機械が苦手よ」という訳が。

自治会の総会で女性が質問をしたら、閉会后「発言する場じゃない」と高齢男性に叱られた。何でも聞いていって言ったのに。

アンコンシャス・バイアスが改善された事例

固定資産税・都市計画税納税通知書で、2人の共有名義の場合の宛名が『〇〇外1名』となっていたが、一部個人名記載が可能になった。

主に転入者に配布される『こいだいら市民便利帳』の中の小平市の木（ケヤキの木）の記述にあった「男性的で力強い」が平成9（1997）年から削除された。

『ひろく』からのひと言

男女同権の社会にあっても、両者の間には分らないことがたくさんあります。

どうして家事や介護は女性、外で働くのは男性と思われ込んでいるのでしょうか。反対に、家事や介護するのは男性、生活費を稼いでくる女性がいても不思議ではなく、現実にもそうしている人たちもたくさんいます。

そもそも人間がどう生きるかを決めるのはその本人です。それで本人が楽しく生きていけば良い訳です。ところが、世の中には常識というやっかいなものがある、それが自由な生き方の障害になっていくことが多々あります。

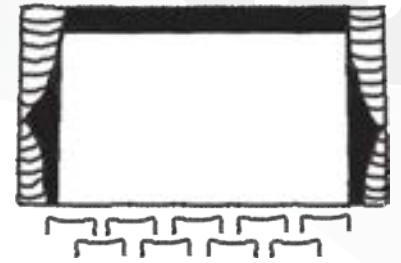
常識は、個々人の無意識のうちにつくられていく決まりごとや思い込みです。時にはそれは役に立ちます。ならばらの意見の落としどころとして周りを説得する力を持っています。問題なのは、その常識が偏見や思い込みとして誰かを傷つけていることに気づかないこと。

女性が男性に持っている常識、男性が女性に持っている常識をもう一度見直してみることが必要なのではないでしょうか。





本・映画・ドラマの中の 男女共同参画



『フェミニズムはみんなのもの 情熱の政治学』

ベル・フックス 著 堀田碧 訳

「フェミニズムとは、性にもとづく差別や搾取や抑圧をなくす運動のこと」ともすれば男女の単純な二項対立に陥れられてしまいがちなフェミニズムを、著者フックスはこの定義によって「みんなのもの」として私たちに贈ってくれる。それによって私たちは、フェミニズムが戦うべき相手は男性や裕福な女性などではなく、性差別とそれをもたらし社会の構造なのだということを（再）発見することが出来る。フェミニズムを知って欲しい人にプレゼントしたい一冊。

エトセトラブックス 1800円＋税



『JK、インドで常識ぶっ壊される』

熊谷はるか 著

日本に住む中学3年生のハルカが、高校入学間際にインドに住むことになり、インドに対して持っていた常識とは大きくかけ離れた現実を、次々と目の当たりにして、自分が今まで日本で培ってきた価値観や行動が変化していくという体験を書いたエッセイです。

インドにおけるあらゆる人間も動植物も一緒に共存するカオスの中で、幼さと大人の間にある若さを持つ大きなエネルギーや、それぞれの人生を歩んでいくたくましさを読む人を元気づけてくれます。

堅苦しくない喋り調子で書かれていてとても読みやすいため、特に若い人にすすめてみたい一冊です。

河出書房新社 1400円＋税



『ごみ収集とまちづくり』

清掃の現場から考える地方自治

藤井誠一郎 著

著者がごみ収集の調査と収集体験を通して、明らかにした清掃事業の現状や問題点が詳しく書かれています。

清掃現場は作業手順が多く危険が伴う作業であり、高齢化の問題を含め改革が求められています。自治体によっては、女性の作業員が活躍しているところもあり、興味深く読みました。

住民が積極的にまちの美化に関わり、ごみ問題を解決し、まちづくりに参加している地区が多く、頼もしく思いました。

朝日新聞出版 1500円＋税



『ごみ清掃のお仕事』

シリーズお仕事探検隊

押田五郎 著



解放出版社 1800円＋税

『アワ・レディーズ』
時は1996年、スコットランドの片田舎の堅苦しい女子校。合唱コンクールに出場するために大都会エディンバラに出かける女子高生たちのパンクな一日。

親友のマンダは「男と寝ることが人生の一大事だ」と思ってるけど、

自分は彼女と同じようにはなりたくない、でもそこから抜け出せない今が怖い
ファイヌーラ。悪賢さと歌の上手さが共存するカイラ。白血

病の再発を予感しながら、死ぬのは怖くないけどママが悲しむのが辛い
オーラは、マリア様のように処女のままでいる気はない。

思春期の女の子たちの様々な思いを乗せて、バスは大都会エディンバラへ。
(Netflix)

*令和4年10月現在の情報です。



開催報告

第25回 ひとひと 女と男のフォーラム

ジェンダー平等をつくるのはあなた 家庭・職場・地域のなかで

令和4(2022)年3月26日(土) 小平市中央公民館ホール

講師 じぶ 治部 れんげ さん (ジャーナリスト、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授)

講師は『「男女格差後進国」の衝撃』の著者、治部れんげさん。小平市は第四次男女共同参画推進計画の策定を機に、「男女共同参画宣言都市こいだいら」を宣言したばかりであり、ちょうどよい時期の講演でした。日本はG7^(注)の中で最も男女格差が大きい国。ジェンダー平等の中でもアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)は誰にでも起こることであり、偏見につながるものだというお話でした。事例は身近なものが多く、企業側の取組みにもふれ、男らしさ・女らしさの意識を変えようとする企業がふえていくことがわかりました。治部さんの「制度を変えると意識が変わる」という言葉が印象的でした。

男女共同参画推進実行委員会に男女の委員がいて、会場にも男性の参加者が多いと治部さんから言われました。ジェンダー平等をつくるのは私たち一人ひとりです。

(注) G7: 日本、アメリカ、カナダ、フランス、イギリス、ドイツ、イタリア及びEUで構成される政府間政治フォーラム



令和4年度 男女共同参画週間講演会

『らしさ』からの自由

「○○○だからこうしなきゃ」と決めつけていませんか？

講師 おおた けいこ 太田 啓子 さん (弁護士)

令和4(2022)年7月2日(土) 小平市中央公民館ホール

弁護士として扱う離婚訴訟や2児の男の子の子育て経験から「らしさとは何か」について、分かりやすい事例をもとに話してくださいました。ご自身もお子さんからの指摘で自分の中の無意識のバイアスに気づかされることもあるそうです。まずは、一人ひとりが“女らしさ”“男らしさ”を押し付けないということが大事なことで、無意識に自分に刷り込まれているバイアスを自覚することがはじめの一歩であると理解が深まりました。



『これからの男の子たちへ』
太田啓子 著 大月書店



SDGs

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現を目指す国際目標です。

平成27(2015)年の国連サミットにおいて全ての加盟国が採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。令和12(2030)年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

そしてこのSDGsの目標の5つ目に、「ジェンダー平等を実現しよう」があります。この目標達成への取組みとして日本政府は、平成28(2016)年5月に「女性の活躍推進のための開発戦略」を策定し、この分野における国際協力を強化しています。

開発戦略は、女性と女児の権利の尊重・脆弱な状況の改善、女性の能力発揮のための基盤の整備、政治、経済、公共分野への女性の参画とリーダーシップ向上を重点分野としています。

『ひらく』でも男女が平等に生きる社会を作るための情報を発信しています。自分が知らないうちに持っているアンコンシャス・バイアス(詳しくは2ページへ)に気づくだけでもジェンダー平等を実現する第一歩になるのではないのでしょうか。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS





こだいらにじいろ電話相談

「同性が好きかもしれない」、「自分の性別に違和感がある」など電話で性的指向※1や性自認※2の悩みを相談できます。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。電話相談のみで事前予約制です。

- ※1)性的指向：恋愛傾向や性的な関心がどの性別に向かうのか。
- ※2)性自認：自分の性別をどのように認識しているか。

■電話相談実施日

奇数月の第2金曜 午後4時～6時

■予約方法

①電話で予約

042-346-9618

市民協働・男女参画推進課

月～金曜 午前8時30分～午後5時

※祝日、年末年始を除く

②WEBで予約

ホームページの

【こだいらにじいろ電話相談申込みフォーム】から。

※詳しくは小平市ホームページをご覧ください。(右QRコード)



同性のことが気になっているけど誰にも言えない…

カミングアウトされたらどうしたらいい…?

自分の性別がよくわからない…



こだにじROOM (るうむ)

LGBTやそうかもしれないと感じている人、アライ※3)の人の交流の場です。事前申込み制で、時間内の出入りは自由です。

(※3)アライ：LGBTの人たちの活動を支持し、支援している人たちのこと。

■とき

令和5(2023)年1月22日(日)

午後2時～3時30分

■申込み

ホームページの

【こだにじROOM参加申込フォーム】から。

※詳しくは小平市ホームページをご覧ください。(右QRコード)



皆さんの声をお寄せください。

『ひらく』を読んだ感想やご意見など、以下のメールアドレスやホームページからお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

●市民協働・男女参画推進課へメール
kyodo-danjo@city.kodaira.lg.jp

●小平市ホームページ
→『ひらく』のページ
→メールでのお問合せ



撮影：長塚 秀人

表紙のひらく
鈴木ばやしは、市内の鈴木地区に江戸時代より伝わる郷土芸能です。笛、太鼓、鉦のリズムに乗って、しし舞い、おかめ踊りなどを舞います。今から141年前に青年たちの娯楽として普及させたのがはじまりで、昭和45(1970)年に鈴木ばやし保存会が設立されました。鈴木ばやしの普及と後継者の養成を主な事業として地域の祭礼や市民まつりなどで活動しています。今回の写真は「小平から多摩村の夏まつり」の様子です。躍動感、音色が伝わってきますね。老若男女問わず観衆を魅了していました。

ひらくはココにあります。

男女共同参画センター“ひらく”、公民館(11館)、図書館(11か所)、地域センター(19館)、大学(6か所)、福祉会館、市民総合体育館、児童館(3館)、市内保育園、幼稚園、健康センター、健康福祉事務センター、市役所、東部・西部出張所、郵便局(17か所)、市内各駅(7か所)、ふれあい下水道館

- 小川町 手作りクッキーの店歩、商工会館、JA 東京むさし、小平警察署、小平消防署小川出張所、南台病院、和食処博
- 小川西町 佐野商店、たましん小平支店、NMC ギャラリー、小川ホーム
- 小川東町 ギャラリー青らんぎ 上水本町 アトリエ・パンセ 鈴木町 egg cafe、サイン・カフェ「ペリユー」
- 学園西町 ビューティーサロンサンローズ、梁里館、美容室ヘアグラッシュ、本間歯科、ヘアサロンサンライズ、笹間住宅資材、学園接骨院、国際交流協会、しらす鍼灸治療院
- 学園東町 日本堂文具店、梅の里、アクティブスタジオ、りそな銀行小平支店、おだまき工房、きそ歯科クリニック、ふく歯科、寝具センター丸新、美容室 Je.、とりあん、一橋鍼灸接骨院、お化粧のしのざき、Kimamaya T&K、宮銅園本店、レンタル BOX 学園坂
- 美園町 多摩済生病院、カフェラガラス、珈琲の香、POEM(ぼえむ)、永田珈琲、ルネこだいら、子育てサポートきらら、アンデスの家ポリビア
- 仲町 小平消防署 大沼町 ガスミュージアム
- 花小金井 公立昭和病院、Cafe & Deli hug、Tacos Mercado、HANA cafe style、上原薬局2丁目店

広報誌『ひらく』の最新号はこちら →



編集後記

●今年度より参加しました。あらゆる変革が遅すぎて辞易する今日のごころですが、より良い誌面を作るべく奮闘される実行委員の方々の姿に、まだまだ希望はあるぞ〜という気持ちにさせられたのでした。私も頑張ります。(並木)

●この5月号ではアンコンシャス・バイアスやSDGsなど、聞いたことはあっても詳しく知らなかったり曖昧な認識になっていたりする言葉について分かりやすくまとめられていると思います。

私はこの号から初めて『ひらく』に関わらせていただきました。皆さんの意見を聞く度に新しい発見があり、とても勉強になります。これからも皆で意見を出し合って考えを深めていきたいです。(雪)

“あったらいいな”を形に 小平でがんサロンを主催

みとべ
水戸部 ゆうこさん

平成30(2018)年、44歳、フルタイムの仕事をして3か月目の時、水戸部さんはがんを発症しました。ステージⅣの手術も放射線治療もできない状況で、当時子どもは小学2年生と5年生でした。治療の副作用で体力的にきつく、周囲の人に迷惑をかけることになるからと、その半年後には退職を決意します。友人に話すと泣かれるので自分のことを話せなくなり、社会とのつながりが絶たれ孤独を感じるようになります。がんを患って1、2年目は自殺率が高いと言われています。がんの知識がないことや治療費がかさむことに不安を抱えていました。

そんな中、オンライン上のがん患者の会に入会します。通っている病院には20～30代の若い世代の患者会はありませんが、その上の世代の患者会はありませんでした。またある時、子どもが学校でがん教育を受けてきたのですが、その内容に違和感を覚えます。当事者の生の声の重要性に気づき、これを機にカミングアウトをし、がんについての啓発をするようになったそうです。

その後、NPO主催のセミナーを受講し、ピアサポーターとなります。子どもを育てながらの闘病生活は大変ですが、みんないろいろなものを抱えながら治療していることを、セミナーや患者同士のつながりから学ぶことができました。令和4(2022)年、地域でがんについて話せる場づくりとして、自分の住んでいる小平で、互いに助け合えるコミュニティを作るため動き出します。仲間を探し、4月に公民館で「がんサロン～Cancer おしゃべりCafe～」

の開催が実現しました。現在の職場近くの千代田区神田の銭湯でも営業時間外の脱衣所で、おしゃべりした後に入浴するというサロンを開催しています。また、公民館の市民学習奨励学級の事業を通じて、地域の人と一緒にがんについて学び、つながるための講座も企画しています。

今、2人に1人はがんにかかると言われています。気がつかないだけで、患者の方は身近にいることがこの取材をとおしてわかりました。そして、そのことを打ち明けられずに苦しい思いをしている人たちは、同じ悩みを共有し気兼ねなくおしゃべりできるコミュニティを求めています。“あったらいいな、という自分の想いを形にしたかった”という水戸部さん。その想いはちゃんと参加者に届き、心の支えになっていると感じました。多くの方に知ってもらい、この活動がもっと広がって欲しいです。



～サロンに参加して～

令和4(2022)年8月に小平で3回目の「がんサロン～Cancer おしゃべりCafe～」が開催されました。参加者は10人ほどで、がん患者の方、そのご家族の方など小平市民に加え、近隣市民などのさまざまな方が参加していました。年齢やがんのステージ、男女の区別なくサポートしたいという水戸部さんの想いを感じることができました。

男女共同参画宣言都市 こだいら

令和4(2022)年3月、小平アクティブプラン21(第四次小平市男女共同参画推進計画)策定を機に『男女共同参画宣言都市こだいら』を宣言しました。

※詳しくは小平市ホームページをご覧ください。(右QRコード)



小平市男女共同参画推進条例の7つの考えのもと推進していきます。

男女共同参画宣言都市こだいら

小平市男女共同参画推進条例の7つの考えのもと推進していきます

- 人権の尊重**
ひとりひとりを大切にしよう
傷ついたりいじめたり
ひとりもいません
- 社会における制度又は慣行についての配慮**
「～だからこうしなきゃ」と決めつけなくて、自分らしいくらし方を自由に選ぼう
- 政策や方針の立案及び決定への共同参画**
大切なことはみんな考えて、話し合ってから決めよう
- 教育における男女共同参画意識の推進**
どんな場でもひとりひとりが自分らしくくらし方を身につけよう
- 家庭生活における活動と他の活動の両立**
みんなが家のことも仕事も地域のこともあきらめずできるように協力しよう
- 生涯にわたる性や子どもを産むことに関する本人の意思の尊重**
みんなが思いやりをもって心も体も大切にずっと健康に生活できるようにしよう
- 国際社会及び国内における取組との協調**
世界の取組に目を向け、よく知ろう

ひらく

第51号
令和4(2022)年
10月発行

発行/小平市地域振興部市民協働・男女参画推進課
☎ 042-346-9618 FAX 042-346-9575
✉ kyodo-danjo@city.kodaira.lg.jp

企画・編集/小平市男女共同参画推進実行委員会

安食世津子 高浜 志織 並木 菜里
岡 武左 竹田 雪美 宮川 和之
笹尾かをる 谷原 裕子
高橋 雅子 中村 幸世

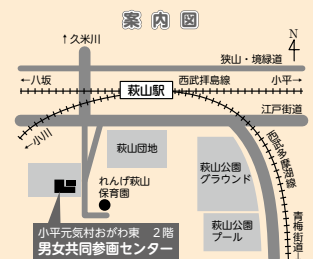
小平市男女共同参画センター「ひらく」

〒187-0031 小平市小川東町4-2-1
小平元氣村おがわ東 2階

042-348-2112 (電話受付時間
午前9時30分～午後5時)

西武拝島線・西武多摩湖線 萩山駅南口より徒歩5分
※駐車場に限りがありますので、車での来館はご遠慮ください

- 開館時間 午前9時～午後10時
- 休館日 火曜日・年末年始・奇数月の第2日曜日
- 利用対象者 どなたでも(利用登録団体は予約可)
- 問合せ先 地域振興部市民協働・男女参画推進課
042-346-9618



『ひらく』は男女平等な社会、だれもが生きやすい社会、住みやすい地域を作るために役立つ広報誌です。公募市民が企画・編集をしています。一緒に広報誌を作ってくれる実行委員を募集しています。市民協働・男女参画推進課に連絡してください。